

# 田んぼの生きものシンポジウムと「どんと焼き」報告書

一般社団法人日本在来種みつばち協会

## 【概要】

笠間市上郷地域を訪問し、田んぼの生き物シンポジウムおよび「どんと焼き」体験のバスツアーを行いました。

田んぼの生きものを通じて、農薬（ネオニコチノイド）の空中散布をすることでの影響や、美しい里山の景観を保護することの重要性を学びます。また、食事会や行事への参加を通じて、地元の農家・非農家あわせ地域全体での空中散布中止に向けた啓蒙活動とします。

【日時】平成26年1月12日（日） 8:00～18:00

【場所】須藤本家（笠間市小原 2125）

上郷地区・笠間市体験学習館「分校」（笠間市上郷 1742 番地 1）

【参加者】16名（うち幼児1名）

## 【イベント内容】

8:00 銀座紙パルプ会館よりバス出発

9:30 須藤本家にてお酒づくりのお話・試飲（生きもの認証米で仕込んだお酒を試飲）



須藤本家は平安時代から 850 年以上の歴史をもつ、日本最古の蔵元。敷地内の井戸水を使用しているという仕込み水を頂きましたが、まるやかで澄んだ美味しさ。蔵の周りには背の高い木々に囲まれ、恵まれた自然環境がおいしい水を作るものと実感しました。スタッフの方も「この水ばかりは人間が作ることはできない。大事に守っていきたい。」とお話してくださいました。

古き良き歴史を伝える一方で、チーズとのマリアージュなど日本酒の新しい楽しみ方を提案されています。フランスやドイツから蔵を見学するために訪れる方もいらっしゃるとのこと、海外での「SAKE」に対する評価を高める活動もされています。

10:30 上郷地区へ出発⇒11:00 上郷地区に到着

11:30～12:00 田んぼの生きものシンポジウム第一部 講師 林鷹央氏



林氏が作成した「田んぼの環境診断チェックシート」をもとに田んぼの豊かさ指標および活動内容を発表。里山の風景を謡う民謡を紹介したり、生きものをイラスト化して分かりやすいと参加者から感想をいただきました。

12:00～12:30 田んぼの生きものシンポジウム第二部 パネルディスカッション  
パネリスト 生駒敏文氏 水野玲子氏 御園孝氏 林鷹央氏



生駒氏からは、農薬の空中散布を中止するに至った経緯や上郷地区の自然を守るための活動について報告をうけた。また、パネルディスカッションでは、ネオニコ資料についての説明や会場内からの質疑応答を行った。

12:30～13:30 どんと焼き食事会



つくたての餅やおそば、豚汁などがふるまわれました。各テーブルの前には長蛇の列ができ、あっという間に無くなってしまいました。隣の市から来た女性は、「初めて参加するが、こんな行事があるとは知らなかった。人がたくさん集まっていてビックリした。」とのこと。

13:30~14:30 田んぼの生きものシンポジウム第三部『ミツバチからのメッセージ』上映会



ミツバチの大量死や人間への健康被害の様子を伝える DVD に、50 人以上の方が真剣なまなざしでご覧になっていました。また、山口伸樹笠間市長も参加くださり、上演後にご挨拶を頂戴いたしました。

14:30 どんと焼き開催セレモニー

15:30 どんと焼き



どんと焼きは正月の松飾りやしめ縄をやぐらと一緒に燃やし、その火で焼いたもちを食べるとその一年は健康で過ごせるという無病息災を祈るお祭りです。高く積み上げたやぐらに火を着けると一気に燃え上がり、大迫力でした。この地元のイベントで市長や県会議員の皆さんが、ミツバチと空中散布を減らして、生きもの豊富な地域づくりについて支援を表明。

16:30 上郷地区を出発

18:00 銀座紙パルプ会館着

以上